



川舟に乗り、銚子川を渡る参加者（10日、紀北町で）

江戸期の巡礼川の道行く

熊野古道の世界遺産登録してきた。

20周年を記念し、紀北町の銚子川で10日、かつて巡礼者を運んだ舟漕しが再現された。

今回、熊野古道ツアーなどを実施する「くまの体験企画」が、江戸時代の巡礼路を歩くツアーを計画。ふ

江戸時代、銚子川には橋がなく、熊野三山を目指した巡礼者は、舟で川を渡っていた。紀北町のNPO法人「ふるさと企画舎」が2008年、舟漕しを再現しようとして川舟を建造。13年頃まで、イベントなどで運航

すると企画舎の協力で、舟漕しが実現した。参加者約30人は、川舟で銚子川を渡り、当時の巡礼者と同じ風景を楽しんだ。熊野市の女性（79）は「川の透明度が高く、川底まで見えた」と満ち足りた。